

クラブスローガン『“原点回帰”絆を深め ウィ・サーブ』

加古川中央ライオンズクラブ

335-D地区 シンボルマーク

# 会報



「全員参加、全員感動」



2016.03.27 結成35周年記念式

**第111・112合併** 2015.10~2016.06  
2016.06.30 発行

## 第111・112号 特集内容

例会（第836回～第851回）

新会員紹介

役員退任挨拶（会長、幹事、会計、計画委員長）

次期役員・委員会編成表



国際会長テーマ

『命の尊厳と和』

335-D地区ガバナーテーマ

『奉仕への情熱』

335-D地区アクティビティ・スローガン

『全員参加、全員感動』

ライオンズクラブ国際協会 335-D地区 2R-2Z

**加古川中央ライオンズクラブ**



# 第836回 通常例会「新会員入会式」

2015.10.30 (金)  
例会場



新会員紹介  
スポンサー L 中島省悟



新会員 L 毛利順活



ゲストスピーチ  
鹿多 証三様 “F” に正す

# 第837回 加古川ツーデーマーチ

2015.11.14 (土)・15 (日)  
加古川市民会館

今年のツーデーマーチは、14日の土曜日は、あいにくの雨空でしたが、多くのウォーカーが参加され、40km、20km、10km、5kmコース合計3,160人の参加がありました。また、翌15日の日曜日は天気も回復し、前日より1,100人あまり多い、4,305人の参加があり、両日共の参加人数は、7,465名です。

我がライオンズクラブは、事前申込みをされた方達の受付、記念品および参加ゼッケンを渡す作業で、朝5:30~最終アンカーが出発する11:00過ぎまで業務を行いました。



受付作業状況



ウォーカーの出発状況



岡田市長 てる姫ちゃんとの記念写真



# 第838回 加古川中央LC 加古川清流LC合同 オークション例会

2015.11.27 (金)  
ミル・アンジュ

第838回 例会は、加古川清流LCと合同で、オークション例会を行いました。  
各メンバーが、商品を持ち寄り、また姉妹クラブのご当地物産を手配したりして、たくさんの品物が落札されていきました。



# 第54回 OSEALフォーラム in バンコク 2015.12.3～6日 タイ・バンコク

第54回 OSEALフォーラム in タイ・バンコクは、事務局員含む28名が参加。開会式、晩餐会前後の日には、ゴルフやアユタヤ観光等も楽しみました。



OSEALフォーラム 開会式

地区ガバナー  
L 白山 慶三 挨拶



アユタヤ遺跡観光



335-D地区 ガバナー晩餐会



# 第839回 通常例会「新会員入会式」

2015.12.11 (金)  
例会会場



ガバナーバッジ授与



「宣誓」 新会員 L内原 通雄



地区ガバナー L白山 会長 L船橋 と一緒に初ローア

# 第840回 クリスマス家族合同移動例会

2015.12.19 (土)  
神戸舞子ビラ



加古川中央LC  
L船橋 会長 挨拶



加古川清流LC  
L大谷 会長 挨拶



アトラクション「天使の聖歌隊」



“そえんじ” リサイタル



お楽しみ抽選会



「また会う日まで」



夜の明石海峡大橋



# 第844回 指名会例会

2016.2.26 (金)  
プラザホテル

今回の例会は、プラザホテル1Fボールルームでの夜間例会。いつもの昼間には出て来れない会員も出席して頂きました。またゲストスピーチは、長年イタリア滞在で最近加古川に戻ってこられた、繁田モンディーニ陽子様によるオリーブオイルのお話を拝聴、例会終了時には、持ってこられたオリーブオイルすべて完売になるほどの人気でした。



L 船橋会長の挨拶



ゲストスピーチ 繁田モンディーニ陽子様



指名委員長 L中村による  
次年度役員候補発表



2月誕生記念品贈呈の  
L副島 及び L石川

# 第845回 献血ACT例会

2016.3.5 (土)  
ニッケパークタウン



献血呼びかけ状況



L 船橋会長の受付状況



# 鹿児島さつまLCとの姉妹締結式

2016.3.26 (土)  
姫路日航ホテル

3月26日(土)鹿児島さつまLCとの姉妹締結式が、ホテル日航姫路で行われました。

姉妹締結式では、朝早くから鹿児島さつまLCのメンバー14名、また、姉妹クラブの小樽中央LCより11名の方が加古川にお越し下さり、昼間は、グランドオープンからちょうど1年を迎えた世界文化遺産・国宝姫路城を観光。

締結式では、地区ガバナーL白山慶三はじめ、キャビネット役員の方々、既姉妹クラブの小樽中央LCの方々、2R2Zゾーンチェアパーソン及び加古川清流LCの理事の方々の立ち会いの下、厳粛にそして粛々と調印式及びバナー交換が行われました。第2部は、記念講演 講演師 旭堂南海による『黒田官兵衛』の講談を拝聴 第3部の祝宴では、それぞれのテーブルを超えてのご歓談及びクラブ間交流、アトラクションの「ベリーダンス」では、飛び入りでのダンスを行うなど和気あいあい楽しい時間を共有しました。



3クラブ一緒に姫路城観光



姉妹締結式“署名調印”



両会長による堅い握手



クラブバナー交換



両クラブ会長・幹事、姉妹締結委員長によるローア



335-D地区ガバナー挨拶



仲人役 小樽中央LC会長の挨拶



第1副地区ガバナー音頭による“We Surve”



ベリーダンスに飛び入り参加



3月27日(日)は加古川中央LC35周年・加古川清流LC10周年合同記念式典があり、一般ご来賓13名、キャビネットおよびライオンズクラブ関係ご来賓75名を含む総勢170名での式典となりました。

式典では、加古川清流LC大会幹事 内橋良子の「ライオンと呼ばれる人」の朗読から始まり、開式宣言、開式ゴング加古川中央LC大会委員長 中島省悟の「歓迎のことば」、加古川中央LC 船橋会長及び加古川清流LC 大谷会長のご挨拶の後、ご来賓の祝辞を頂きました。

続いて、スポンサークラブに「感謝状並びに記念品贈呈」、それぞれのクラブの「記念事業発表」、「感謝状拝受」と続き、「会員表彰」「新会員紹介」を最後に、「閉式宣言」、「閉式ゴング」で無事式典が終了しました。

第2部祝宴では、オープニングとして、あ・ポロンによる うたとアイリッシュハーブの祝奏、小山 仁による「クラブ紹介」、大会幹事 大西 光の「開宴のことば」に続き、「来賓あいさつ」は、元335複合地区ガバナー協議会議長 L森本克幸「姉妹締結報告」は、加古川中央LC姉妹締結委員長松本喜至より行われ、335-D地区第一副地区ガバナーL江草長史による「ウィサーブ」で祝宴が始まりました。

会食懇談時のアトラクションは、あ・ポロンの演奏 及びおどっこ「恋」によるよさこい踊りで会場が盛り上がりました。その後、2R2Zゾーンチェアパーソン L池澤卓美による「ライオンズローア」、「閉宴のことば」は、加古川清流LC式典委員長の岩本智代が努め、全員が輪になってまた会う日までを歌ってお開きとなりました。



L内橋良子による「ライオンと呼ばれる人」朗読



加古川中央LC L船橋会長 挨拶



加古川清流LC L大谷会長 挨拶



スポンサークラブに感謝状贈呈



各種クラブ・団体より 感謝状拝受



チャーターモナーク・シェブロン受賞者



今年度新会員紹介



おどっこ「恋」と一緒に総踊り



全員輪になって「また会う日まで」





# 第847回 選挙会例会(新会員入会式)

2016.4.8 (金)  
中国飯店

今回の選挙会例会は、結成記念も兼ねていますので、場所を変えての夜間例会 L龍岩及びL青木の新会員入会式も同時に行いました。



L船橋会長の挨拶



L青木へバッジ授与



L龍岩へバッジ授与



初めての ライオンズ ロード



前会長L中村の音頭にて“*We Survive*”



L松本(喜)より詩吟披露

# 第62回 地区年次大会

2016.4.10 (日)  
赤とんぼ文化ホール



地区年次大会出席者



地区ガバナー L白山慶三 挨拶



L船橋会長 アワード受賞





# 第5回 ミニバスケットボール新人大会 2016.5.21 (土)・22 (日) 日岡山体育館

第5回 加古川中央ライオンズクラブ旗争奪 ミニバスケットボール新人大会が 5月21日、22日 日岡山体育館で行われました。加古川市内のミニバスケットボールチーム 男子9チーム、女子6チーム 合計250名が参加。

男子は「浜手ミニバスケットボールチーム」女子は「野口ミニバスケットボールチーム」がそれぞれ優勝しました。



# 第850回 年次会合例会

2016.5.29 (日)  
雄琴温泉 びわこ緑水亭

今年の年次会合例会は、滋賀県 雄琴温泉「びわこ緑水亭」で行い、1年間の活動を労うと共に、新旧役員からは、くじ引きの賞品等をドネーションいただき、楽しい例会となりました。



次期会長 L前田の「開会宣言」

国歌及びライオンズクラブの歌 斉唱

会長 L船橋 挨拶



“宴会中”



アトラクション “くじ引きゲーム”

二次会 ラウンジにて カラオケ



# 第851回 通常例会「最終例会」

2016.6.10(金)  
例会場



L船橋会長 最後の挨拶



L前田及びL丹後 還暦祝贈呈



会長引継ぎ式



旧役員の皆様「お疲れ様でした。」



新→旧三役「花束贈呈」



新旧三役「ローア」

## 新入会員紹介

毛利 順活 (51)

S.33. 9.15



勤務先

佐伯貢 税理士事務所

税理士

〒675-0121  
加古川市別府町新野辺北町3-70-1  
TEL. 079-437-8635  
FAX. 079-437-7562

内原 通雄 (44)

S.47. 3.29



勤務先

有限会社テックビルド  
兵庫神戸営業所

係長

〒651-1504  
神戸市北区道場町平田967-1  
TEL. 078-985-7100  
FAX. 078-985-7101

岩佐 英晃 (50)

S.41. 1.12



勤務先

但陽信用金庫 別府支店

支店長

〒675-0122  
加古川市別府町別府618-2  
TEL. 079-437-3201  
FAX. 079-435-1512

南 書 (37)

S.54. 5.15



勤務先

株式会社コンシェルジュ

代表取締役

〒675-0808  
高砂市神爪1丁目10-3  
TEL. 079-490-2999  
FAX. 079-441-9922

龍岩 大器 (38)

S.53.10.13



勤務先

龍岩工業

代表

〒676-0805  
高砂市米田町米田35-1  
TEL. 079-433-0100  
FAX. 079-433-0111

青木 哲也 (52)

S.38.11.20



勤務先

青木哲也司法書士事務所

所長

〒675-0066  
加古川市加古川町寺家町44-5  
TEL. 079-454-8570  
FAX. 079-454-8571



## 会長退任挨拶

加古川中央LC会長 船橋 佳照



今年度35周年の節目の年に会長をさせて頂き、ありがとうございました。

一年を振り返りますと、7月の第1例会には3名の新会員を迎え、またL白山ガバナーにもお越し頂いての入会式ができましたことは、幸先の良いスタートとなりました。そして、今年度私の実行目標である3つの最重要課題をも達成することができました。

1つめの「35周年記念大会及び鹿児島さつまライオンズクラブとの姉妹締結式」は、各メンバーの綿密な打合せと実行により無事成功裏に納めることができ、2つめの「新会員10名増強」は、今期12名の新会員を迎え入れることができました。3つめの「例会出席率向上と地域社会への奉仕活動」は、100%例会出席2回及び例会出席率平均84.9%と高出席率を達成。地域社会奉仕では、周年事業での加古川養護学校へ遊具寄贈、兵庫アイバンクへの寄付及びLCIF1000ドル献金10口他、熊本大震災への義援金寄付、城山ゴルフ場への植樹、加古川中央市民病院へ桜の植樹(5クラブ合同)と多くの奉仕活動を行いました。

また、フィリピン・サンパロックLCとの協力により、車椅子3台の寄贈と、「ライオンズクラブ100周年奉仕チャレンジ」の事業として、フィリピンの小学生約1,600余名へのフードドネーションを行いました。

このように、3つの目標を為し遂げることが出来たのも、加古川中央LCの皆様と心一つにして、またお互いの絆を深めて行った成果だと確信しております。

まさに本年度のスローガン「“原点回帰”絆を深めウィ・サーブ」を実行出来たものと思います。

地区年次大会では、「会員維持増強最優秀賞」、複合地区では、「LCIF優良賞」も受賞でき、私自身においても「国際会長リーダーシップ賞」を頂きました。

最後に、私を支えて頂きました上田幹事をはじめ理事の皆様、そして35周年の式典、記念ゴルフ、姉妹締結式の各委員長・幹事の皆様ご苦労さまでした。

そして加古川中央LCが今後益々発展することを心より祈念申し上げます。

クラブの皆様 一年間 本当にありがとうございました。

## 幹事退任挨拶

加古川中央LC幹事 上田 隆博



幹事を退任するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

L船橋佳照会長のスローガン「“原点回帰”絆を深め ウィ・サーブ」のもと一年間幹事を務めさせて頂けたことは、私自身感無量の思いと共に、メンバー皆様に対し深く感謝申し上げます。

和やかに奉仕の精神を持ち、笑顔で協力の輪が持てる時間を過ごせたらと心がけておりましたが、未熟な私には苦勞なことも多々ありました。

皆様には、いろいろな場面においてご指導およびご鞭撻をいただき、幹事という重責を全う出来ましたことは、メンバーひとりひとりのお力添えがあつてこそと思っております。

これからは、次期会長はじめ次期役員の皆様方のサポート役として協力していくと共に、クラブ発展のために尽くしていきたいと考えています。

一年間本当にお世話になり、誠にありがとうございました。

## 感謝!感謝!感謝!

加古川中央LC会計 谷口 章仁



私の会計としての職務は、事業年度当初の理事会におきまして、今期大きな事業が数多く控える中、これらを反映した予算を組むことから始まりました。その予算案は、「新会員10名」を予定したものであり、この予算が実行出来るか出来ないかは、新会員の増強がカギを握っており、期初の例会で、会員の方々に十分な理解とご協力をお願いしたことから始まりました。

以降、順調に新会員の加入があり、本来の内容を伴った予算となり、鹿児島さつまLCとの姉妹締結や、結成35周年の周年行事を無事盛大に挙行出来ましたことを心から感謝申し上げます。

一年を振り返ってみますと、会計の立場から実感しましたことは、「数は力なり」との思いを新たにしましたものです。どのような立派なアクト案があったとしてもその裏付けとなる財務がしっかりしていなければ、限られたアクトしかできないとの思いを改めて強く持ちました。

当クラブは結成以来、順調に会員を増やし、ガバナーを2名排出するなどその力を存分に発揮して、日々335D地区の中で存在感を増してきています。各種委員会や、それらをまとめる理事会の活動も活発であり、今後、より組織力を生かした奉仕活動が一段と加速し、ますますの発展が期待できるものと確信しています。

一年間、会員の皆様には、多大なるご支援ご協力を賜り、無事大役を終えることができましたことを感謝いたしますとともに、お礼申し上げます。

## 計画委員長退任挨拶

加古川中央LC計画委員長 明石 隆宏



計画委員長の役を、L船橋会長より任命されてから、無我夢中のうちに一年が過ぎようとしています。

振り返りますと、納涼移動例会、クリスマス家族合同移動例会、鹿児島さつまLCとの姉妹締結式典、三十五周年結成記念式典および年次会合例会など多くの思い出が、昨日のこのように蘇ります。

このように多くの行事を、何とか無事に終えることが出来たのも、会長をはじめ幹事およびメンバーの皆様のおかげと深く感謝し、ここに改めて皆様にお礼申し上げます。

計画委員長として、不行き届きな点多々ありましたが、私自身も「We Serve」の精神のもとにお許し下さいますようお願いいたします。

今後ともご指導、ご鞭撻をよろしく申し上げます。



# 役員・委員会編成表



会長 L前田 勝義



幹事 L大村 慎太郎



会計 L松浦 稔

会 長	L前田 勝義
前 会 長	L船橋 佳照
第一 副 会 長	L大西 真嗣
第二 副 会 長	L澤本 武司
第三 副 会 長	L松本 裕一
幹 事	L大村慎太郎
会 計	L松浦 稔
ライオンテーマ	L小山 利明
テールツイスター	L中島 省悟
会 員 理 事	L丹後 昌博
一 年 理 事	L原田 一郎
一 年 理 事	L三木 敦男
一 年 理 事	L志水 裕喜
一 年 理 事	L谷口 章仁
二 年 理 事	L明石 隆宏

名誉顧問・元地区ガバナー 創立百周年記念 地区計画委員長	L太田 久之
名誉顧問 元地区ガバナー	L大辻 利弘
明日のライオンズを 考える会 委員長	L船橋 佳照
2R 青少年育成委員	L松本 喜至

創立百周年記念推進 プロジェクト 顧問	L太田 久之
プロジェクトリーダー	L上田 隆博
副	L長尾 浩二
会長、第一、二、三副会長、幹事	

担 当	委員会	委員氏名 (◎委員長 ○副委員長)
第一副会長 L大西 真嗣	会 員 財 務	◎ L丹後 昌博 L小山 利明 L太田 久之 ○ L松本 喜至 L中村 正則 L中島 省悟
	出 席 接 待 指 導 力 育 成	◎ L谷口 章仁 L石川 敏晴 ○ L元田 裕一 L池本 哲雄 L上田 隆博 L南 書 L大辻 利弘 L足立 安通
第二副会長 L澤本 武司	PR・会報編集 インターネット	◎ L三木 敦男 L治居 貴憲 ○ L長尾 浩二 L高橋 行義 L池田 希 L大河 誠一 L三浦 照男 L竹内 昌弘
	計 画	◎ L原田 一郎 L小山 仁 L中川浩二郎 ○ L村上 博 L長谷川裕城 L青木 哲也 L木戸 貫寛 L菅森 勝博 L宮脇 克己 L上田 豊之 L副島 司
第三副会長 L松本 裕一	青少年指導 市民教育	◎ L明石 隆宏 L花木 敏彦 L花田 原樹 ○ L大西 光 L新田 稔彦 L内原 通雄 L高尾 利男 L中谷 隆文 L龍岩 大器 L外林 雅夫 L掘井 健智
	献 血 社 会 福 祉 環 境 保 全 国 際 サ ー ビ ス	◎ L志水 裕喜 L大谷 嘉信 L藤田 哲弥 ○ L北角 誠一 L大西 要 L岩佐 英晃 L小倉 光夫 L毛利 順活 L河本 博明 L善積 茂
会 計 監 査		L松本 喜至 L河本 博明

副ライオンテーマ	L長尾 浩二
副テールツイスター	L中谷 隆文
会員増強委員	L中谷 隆文

## 編 集 後 記

今期は、結成35周年記念行事及び姉妹提携等多くの行事がありました。当初、会報誌を年3回発行すべく予定していましたが、35周年記念誌の発行もあり、第111号の発行が遅れてしまいました。今回、その第111号及び第112号の合併号としてページ数を増やして編集しています。記事の内容が、古く時間を遡って編集し、タイムリーな内容にはなっておりませんが、どうかご容赦下さいますようお願い申し上げます。私も先期、今期と2年続けてのPR委員長をさせて頂きましたが、至らぬところが多々ありましたことを深く反省致しております。来期は、L三木にバトンタッチ致しますが、皆様の変わらぬご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。PR会報編集・インターネット委員長 原田一郎